

## △使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

#### 1. 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 抗生物質によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

#### 2. 次の部位には使用しないでください

- (1) 湿潤やただれのひどい患部。

- (2) 深い傷やひどいやけどの患部。

- (3) 目や目の周囲。

#### 3. 長期連用しないでください



### 相談すること

#### 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 患部が広範囲の人。

#### 2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

#### 3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

共通事項解説〔1〕参照

患部の湿潤やただれのひどい場合には、刺激が強く、痛みやはれなどがあらわれることがあり、自己治療の範囲を超えている場合も多いため、これらの部位への使用はできません。

深い傷やひどいやけどがある場合には、自己治療の範囲を超えている場合が多く、これらの部位への使用はできません。

目や目の周囲は敏感であり、痛みやはれなどがあらわれることがあるため、これらの部位への使用はできません。本剤は眼軟膏（無菌製剤）ではありません。

本剤は、症状が出た時に使用する対症療法薬で、長期に使用するものではありません。

抗生物質外用剤なので、耐性菌の発現等を防ぐため、治療上必要な最小限の期間の使用にとどめる必要があります。

共通事項解説〔3〕参照

共通事項解説〔5〕参照

患部が広範囲の場合、自己治療の範囲を超えている場合が多く、本剤を使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談することが必要です。

本剤の使用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には使用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

5～6日間使用しても症状がよくならない場合は、他に原因があることも考えられます。症状がよくならないまま使用を続けると悪化することも考えられるため、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4)外用にのみ使用してください。

共通事項解説〔7〕参照

共通事項解説〔6〕参照

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4)使用期限（外箱及びチューブに記載）をすぎた製品は使用しないでください。
- (5)本剤は黄色の軟膏ですので、衣服への付着に注意してください。

共通事項解説〔9〕参照

共通事項解説〔10〕参照

共通事項解説〔11〕参照

共通事項解説〔14〕参照